

12月2日 傍聴下さい代表質問 1期生で2度登壇は初めて

議会の華は代表質問。議員4人以上の交渉会派だけに許されます。午前10時から時間無制限で知事に何度でも質問でき、1回25分で質問は5回の一般質問とは違い、広く深い議論ができます。私は2012年2月、今期当選した1期生議員として初めて代表質問しまし

たが、次の11月定例会中の12月2日、再度、代表質問する予定です。会派希望で

は、今期前半は議長だったため、まだ代表質問されていない伊藤美都夫議員がさ

れるのが順当ですが、「1年生議員が2度も代表質問をするのは例外中の例外。だからこそ、やりなさい。質の高い質問ができれば政策の証明だ。砂場議員ならできるよ」と厚情を示していただきました。

さい。皆様と一緒に質問を作りたいと思っています。質問作成のため、先進地や中央官庁を訪れ、県庁の各部課から連日の聞き取りを繰り返しています。選挙のことを考えると不安にもなりますが、「きちんと仕事をしてこそ、有権者の皆様に評価してもらえないはずだ」と自分に言い聞かせてます。時間の許す皆様は議場や県議会ネット中継、ケーブルテレビ放送でご覧頂ければ幸いです。

お聞かせ下さい、提言や不満

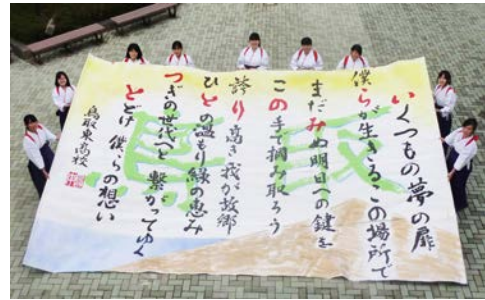
テーマは「やらいや未来づくりを考える」。平井知事のマネーファストを検証します。午前10時から民主主義の在り方、原発、治安、財政など安心安全な未来づくりの基盤についてお聞きし、午後1時頃から地場企

業を支える商工と雇用の政策、午後3時頃から子育て、介護、シングルマザーの支援など福祉と教育について質問する予定です。県政への提言や不満などご教授下

てに乗った結果ですが、特集面の執筆などかなりの過重労働です。新聞社で記者や編集者をしてきた経験を活かして自主編集することで経費削減になっていきますので、文句を言わず頑張る

うと思っています。書道パフォーマンスに取り組む高校生たちが制作した作品で、表紙を飾るなど様々な工夫も重ねていますので、ご家庭に届きましたらご一読下さい。

議会だより 議場の情報、皆様へ 執筆・編集を議員で担当



鳥取東高校で表紙に使う書道部の力作を写真撮影

皆様の下に「議会だより」が年4回届いていると思います。議員でつくる広報委員会が執筆から編集、校正まで主体的に担っているのが鳥取県議会の特徴で、その委員長をしています。創刊は2012年9月。伊藤美都夫前議長が進めた議会改革の一環で、皆様に

少しでも県議会の活動を知っていただくのが目的でした。横山隆義議員が委員長、私は編集長でしたが、昨年9月から委員長を代わりました。「1期生が委員長になるのはまずない」とおだ

「会派希望（のぞみ）」は各団体や業界の皆様のを、面接力、書面でお聴き

力です。お聞きした要望は会派内で議論し、会派要望として平井知事らに提出し、要望の実現に向けて全

団体の要望、県政へ届けます

新年度予算編成に向け、

します。お聞きした要望は

力です。お聞きした要望は

はお気軽に私か、議会事務局の「会派希望」担当（0857・26・7460）までご連絡下さい。